

国際ロータリー倉敷大会 地域貢献の11団体表彰



国際ロータリー第2690地区の倉敷地区大会で行われた「キラリ☆一番星アワード」の表彰式

岡山、鳥取、島根3県の計67ロータリークラブでつくる国際ロータリー第2690地区は28日、倉敷地区大会を倉敷市本町の市民会館などで開いた。3県内で地域貢献活動に取り組む個人・団体を顕彰する「キラリ☆一番星アワード」の11団体を表彰した。

同アワードは街づくりや環境保護団体を支援しようと本年度創設。金賞に阿波まちづくり協議会(津山市)、どんぐり友の会(瀬戸内市)の県内2団体を、含む4団体、銀賞に7団体(県内4団体)が選ばれた。

表彰式では、金賞の活動をステージ上の大型モニターで紹介。会員約1800人が見守る中、森田昭一郎ガバ

ナーが金賞の団体の代表に記念の盾と副賞50万円を手渡した。タレントで画家の片岡鶴太郎さんが「流れのままに」と題して講演。倉敷アイビースクエアでは、美術家高橋秀さんとコラボレーションした藤田桜さん夫妻の「倉敷市玉島黒崎」が「日々のくらし」をテーマにトークショーを行った。(土井一義)